

アジアLNG価格見直しの実用ガイド-パート2

現在、アジアのバイヤーが長期LNG契約の下で価格調整を求める実質的な商業インセンティブがあります。このシリーズのパート1では、効果的な価格見直し条項の要素を概説しました。しかし、価格の見直しが合意によって解決できない場合には、効果的な仲裁機構が必要とされます。

効果的な仲裁条項のために必要な3つの基本的要素についてのアジア価格見直しの観点から、当社は以下のようにコメントします。

1. 仲裁地

仲裁地の選択は単に公聴会がどこで行われるかを決定するだけだ、という一般的な誤解があります。実際には、それは調停の手続法を決定し、どの国内裁判所が監督管轄権を持っているかを決定します。これは基本的な意味合いを持つ要因です。例えば、そらは以下に影響します。

- 国内裁判所が、それをサポートするか（潜在的に）弱体化させるために仲裁に干渉する程度、
- 暫定救済措置の利用可能性、
- 仲裁判断に挑戦する権利、および
- 仲裁地と他の場所の両方での仲裁判断の認識と執行。

そのため、信頼性が高く、中立で、「プロ仲裁」の法律と国内裁判所がある座席を選択することが極めて重要です。

シンガポールは現在、アジアの仲裁のための一般的な選択であり、確実にこれらの基準を満たしています。

2. 制度的規則

確立された制度的仲裁規則を仲裁条項に参照として組み込むことが、一般的に強く望まれます。仲裁地の選択は、どの規則が選択されるかを決定する必要はありません。判定が行われる前に、規則の違いを考慮することが重要です。

費用：異なる規則が著しく異なるアプローチを持っている1つのエリアは、仲裁人の報酬や制度の手数料を決定することにあります。SIAC、ICCおよび特定の他の規則で

お問合せ先

この通知についてご質問がある場合は以下にお問合せください：

Justin Williams (ジャスティン・ウィリアムズ)

電子メール

ロンドン

+44 20.7012.9660

Paul Greening (ポール・グリーンング)

電子メール

シンガポール

+65 6579.9070

Michael Joyce (マイケル・ジョイス)

電子メール

シンガポール

+65 6579.9020

Conor Mc Stravick (コナー・マクストラビック)

電子メール

ロンドン

+44 20.7012.9822

は従価税アプローチを採用しており、そこでは係争中の量を参照した規模で手数料を決定します。これとは対照的に、JCAAおよびLCIAの規則では、最大キャップを条件とした時給制を適用します。多額の金額は価格見直し仲裁において通常争点事項となるため、時給制が著しく低いコストを生み出すことになるかもしれません。

時間：規則の選択はまた、仲裁の持続時間に影響を与えます。例えば、処理手順が少なく、制度的管理がより迅速な規則は、より迅速に仲裁判断を得ることができる可能性があることを経験は示唆しています。

機密性：LNG価格見直し仲裁は、機密性の高い情報の開示を伴います。見直しの対象である価格は、それ自体が高度に機密事項です。さらには、例えば、見直しの方法論は、同等の契約に基づく価格、またはエンドユーザー市場での価格が考慮されることを要求するかもしれません。しかし、異なる仲裁規則は、その機密性要件がそれぞれ驚くほど異なっており、中には驚くほど軽微なものもあります。例えば、UNCITRAL規則は機密性に関しては概して寡黙で、仲裁判断自体を公表すべきではないとのみ示しています。

制度的規則の条項は、通常、仲裁条項で改訂することができます。例えば、選択したルールでの機密保持体制が適切だとは考えられていない場合、それは明確に補完または書き換えることができます。

主要な国際仲裁規則の比較は、ここで見つけることができます。

3. 仲裁人と言語

当条項は仲裁人の人数を指定する必要があります。仲裁人1人は通常は費用も安くより迅速ですが、価格の見直し仲裁での課題の量を考慮して、追加の信頼性も得られる仲裁者3人が一般的には妥当だと考えられています。

翻訳の時間とコストを削減するために、本条項は仲裁の言語を指定する必要があります。

akingump.com